

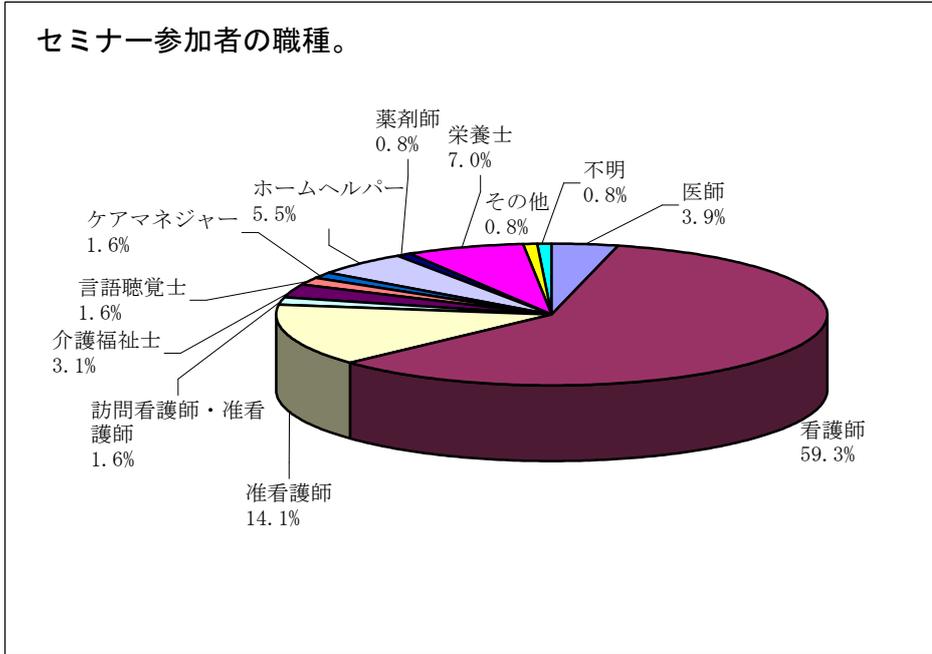
徳島県PDNセミナー(平成18年9月)

アンケート集計結果

回収サンプル数:128

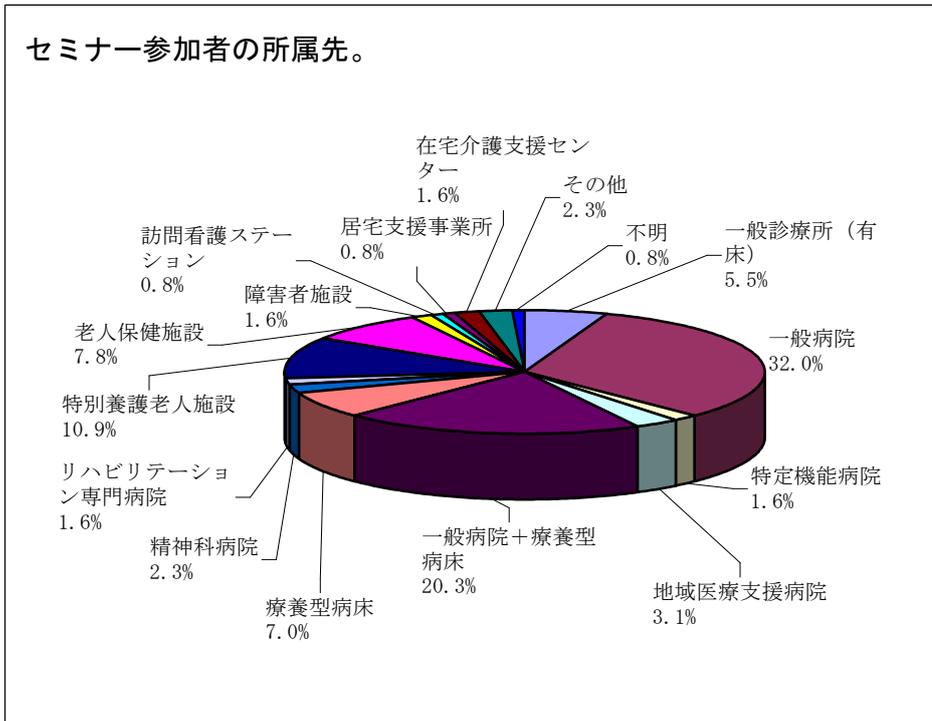
I. セミナー参加者のプロフィール。

□ 職種



N=128

□ 所属先



N=128

□ 所属先の所在地

N 100%=	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	阿波市	吉野川市	美馬市
128	20 15.6	3 2.3	3 2.3	30 23.4	3 2.3	7 5.5	16 12.5

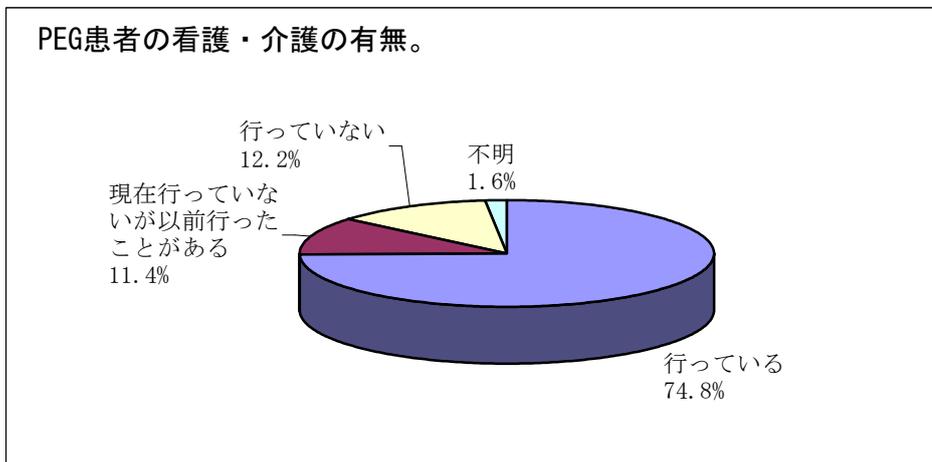
(つづき)

N 100%=	三好市	板野郡	名西郡	勝浦郡	海部郡	香川・坂出市	愛媛・松山市
128	6 4.7	13 10.2	1 0.8	2 1.6	5 3.9	2 1.6	2 1.6

(つづき)

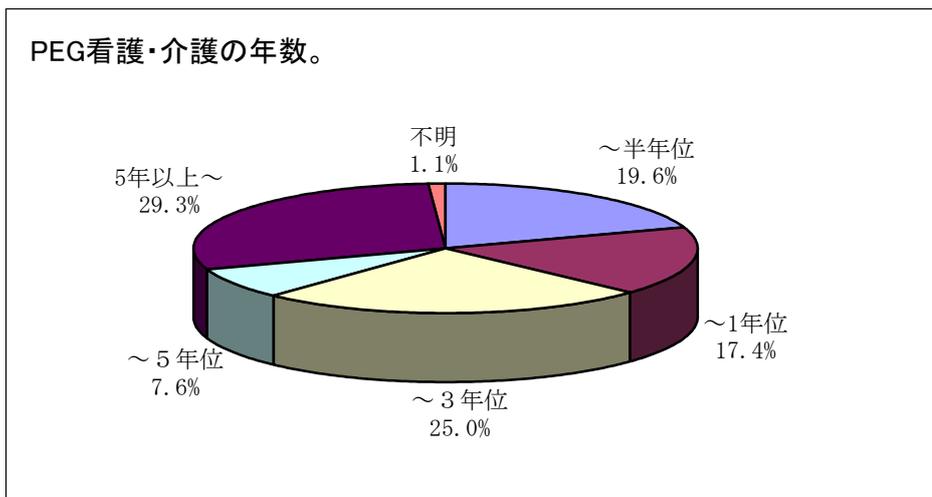
N 100%=	愛媛・宇和島市	不明
128	1 0.8	14 10.9

□ PEG患者の看護・介護の有無。(医師以外の参加者について)



N=123

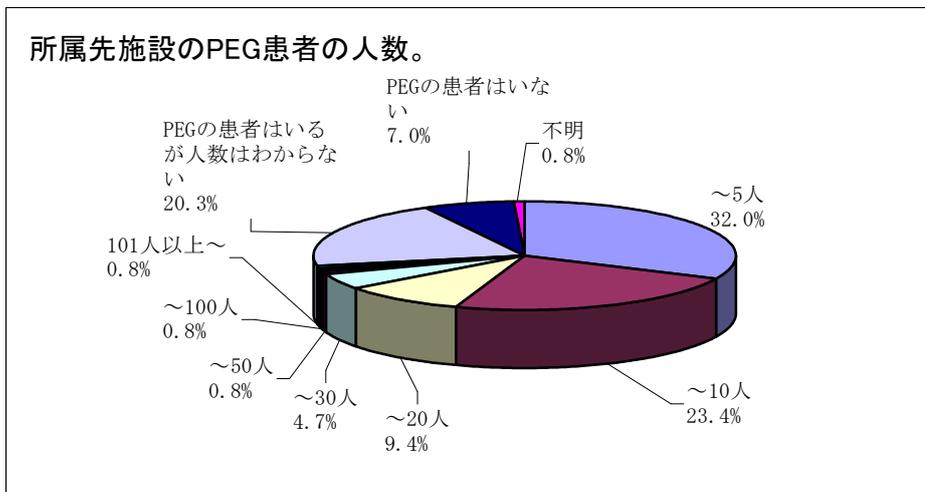
□ PEG看護・介護の年数。(看護・介護を行っている人について)



平均：3.10年 N=95

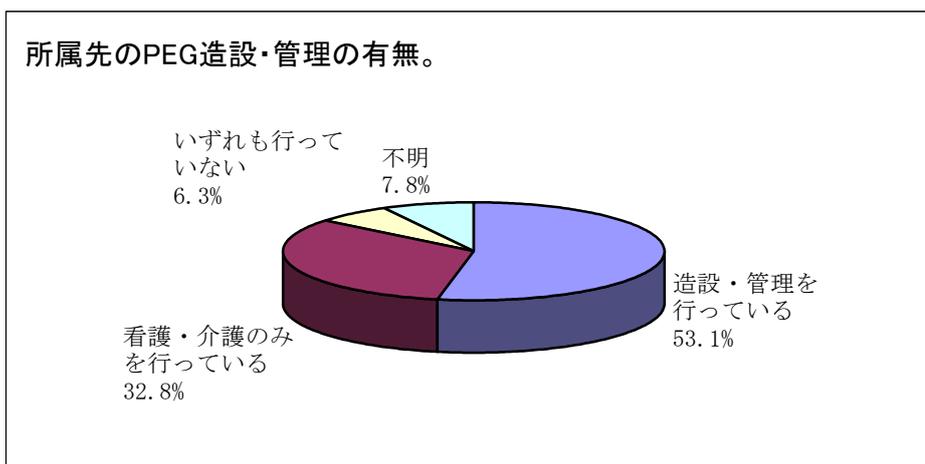
II. 所属先施設のPEGの現状。

□ 所属先施設のPEG患者の人数。



平均：9.70人 N=128

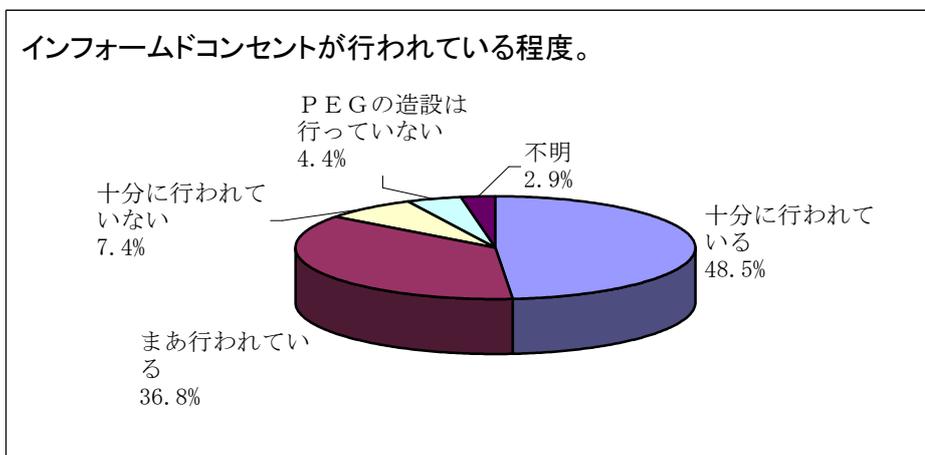
□ 所属先施設のPEG造設・管理の有無。



N=128

□ PEG造設時のインフォームドコンセントの程度。

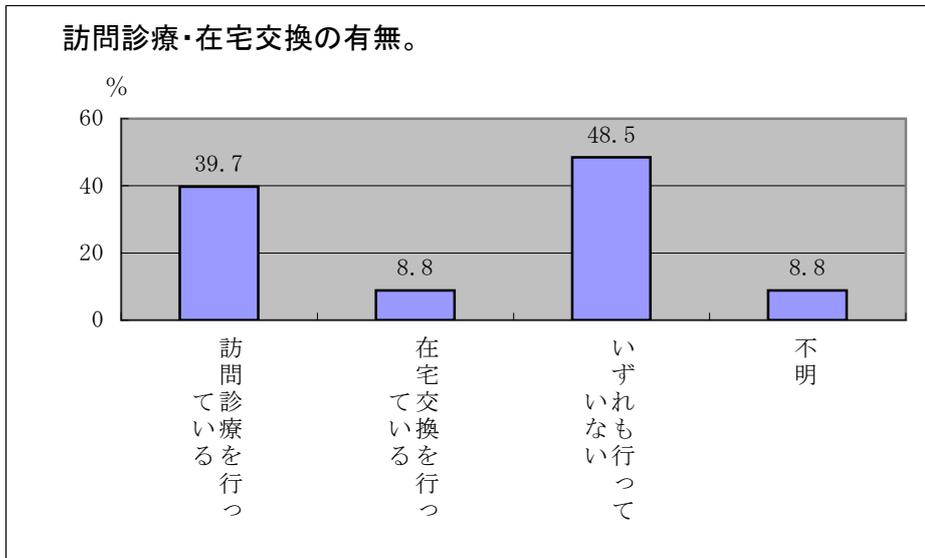
(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



N=68

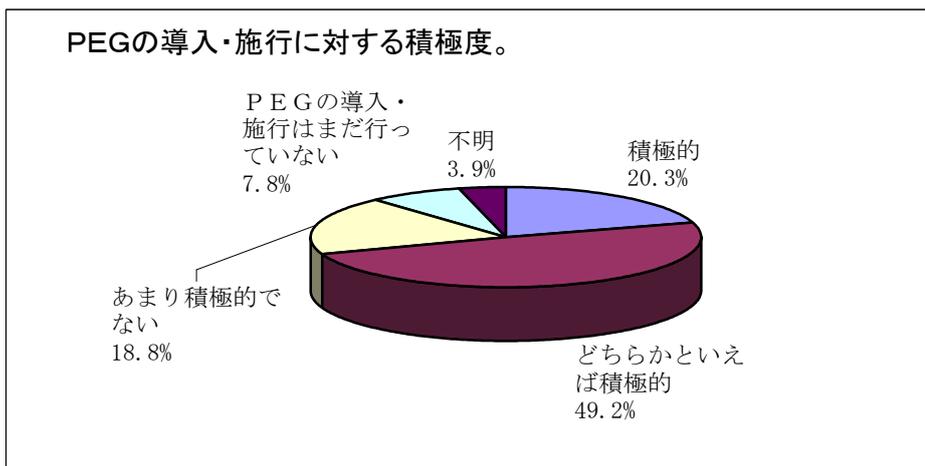
□ 所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無。

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



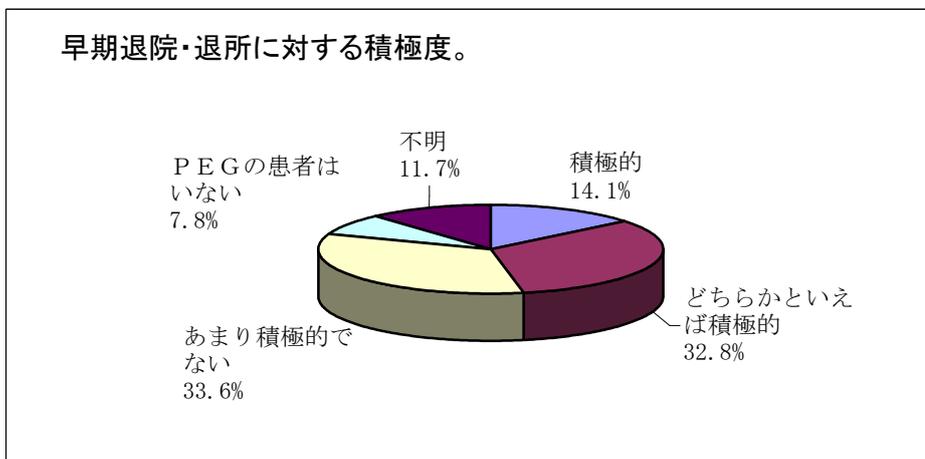
N=68

□ 所属先施設のPEG導入・施行への積極度。



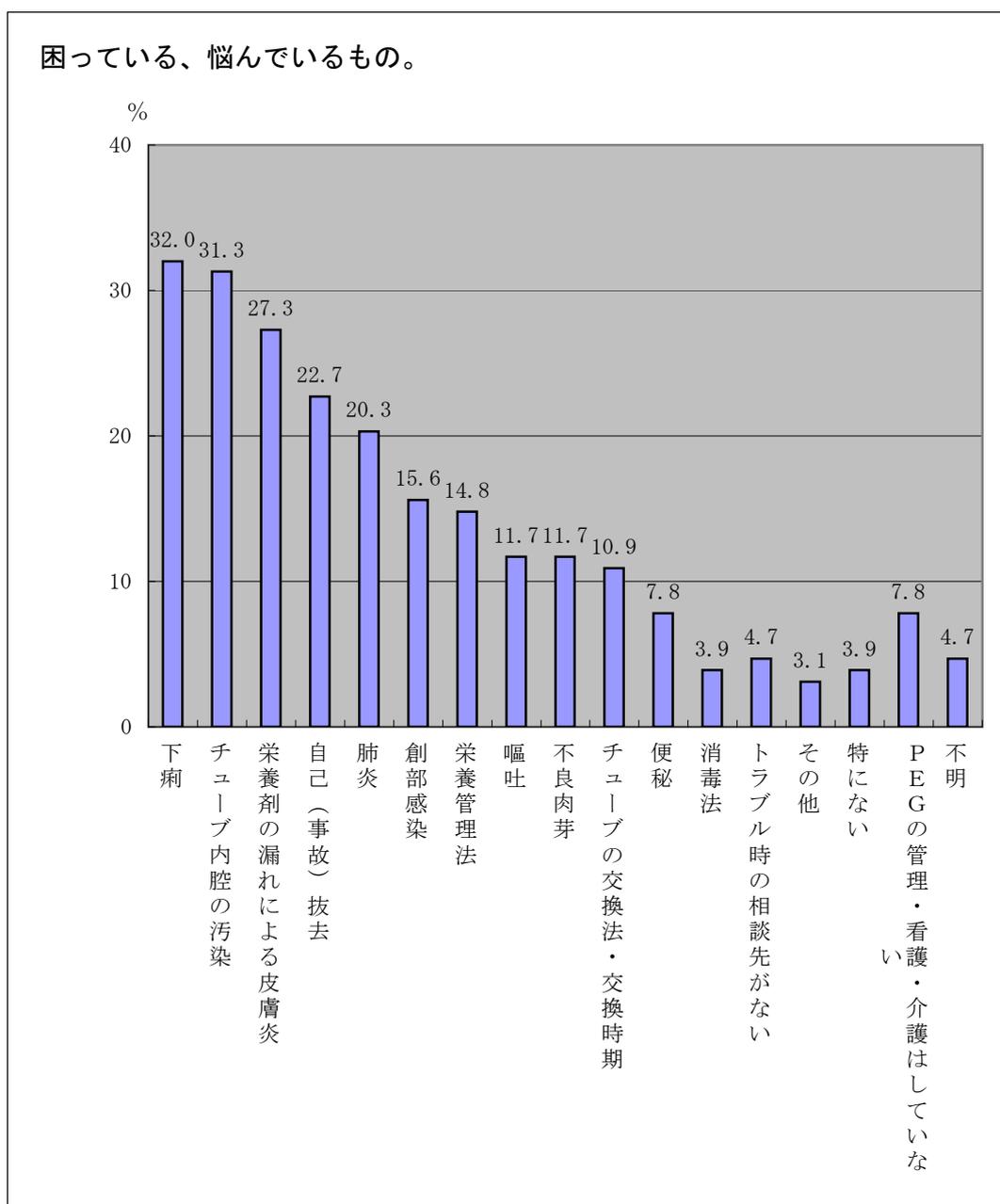
N=128

□ 所属先施設の早期退院・退所への積極度。



N=128

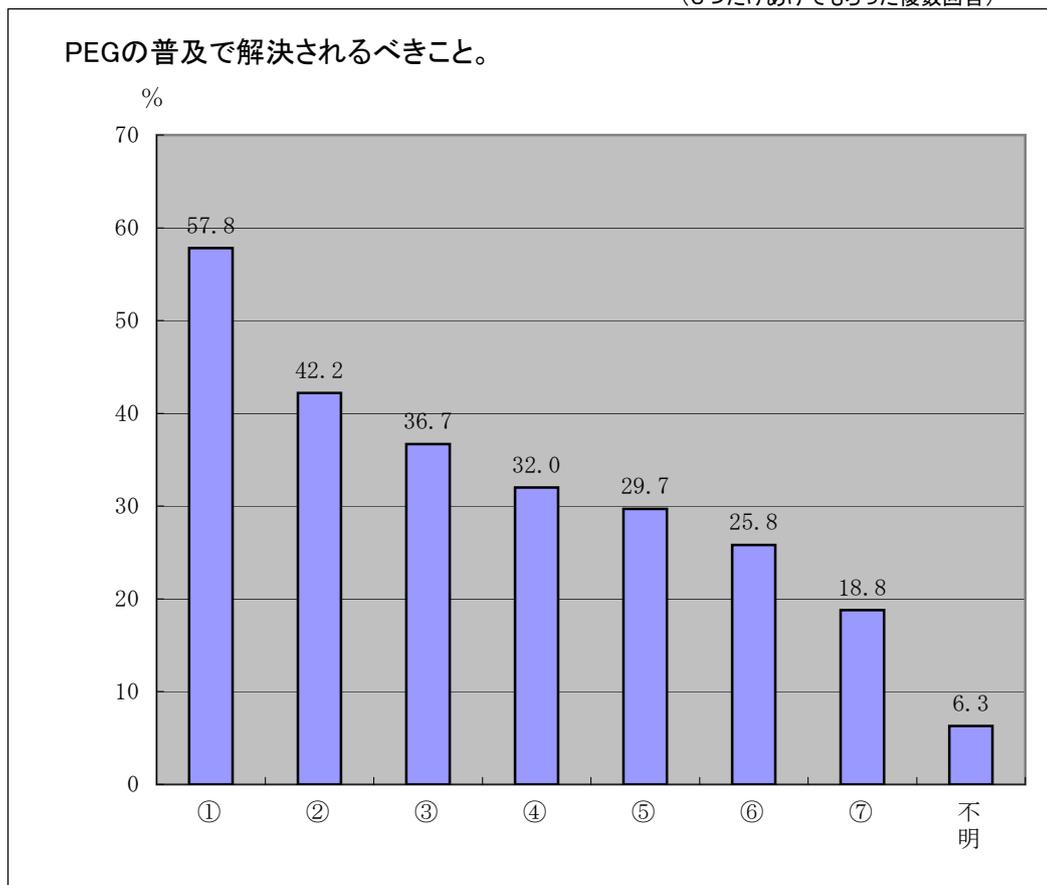
Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの。(複数回答)



N=128

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

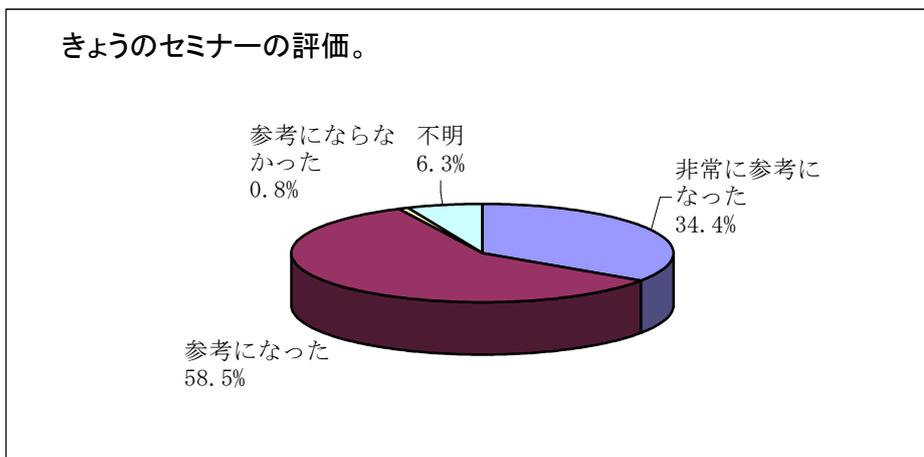


N=128

- | | |
|---|-------|
| ① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 57.8% |
| ② 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 42.2% |
| ③ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPRR活動の充実。 | 36.7% |
| ④ PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 32.0% |
| ⑤ 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。 | 29.7% |
| ⑥ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 25.8% |
| ⑦ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 18.8% |
| 不明 | 6.3% |

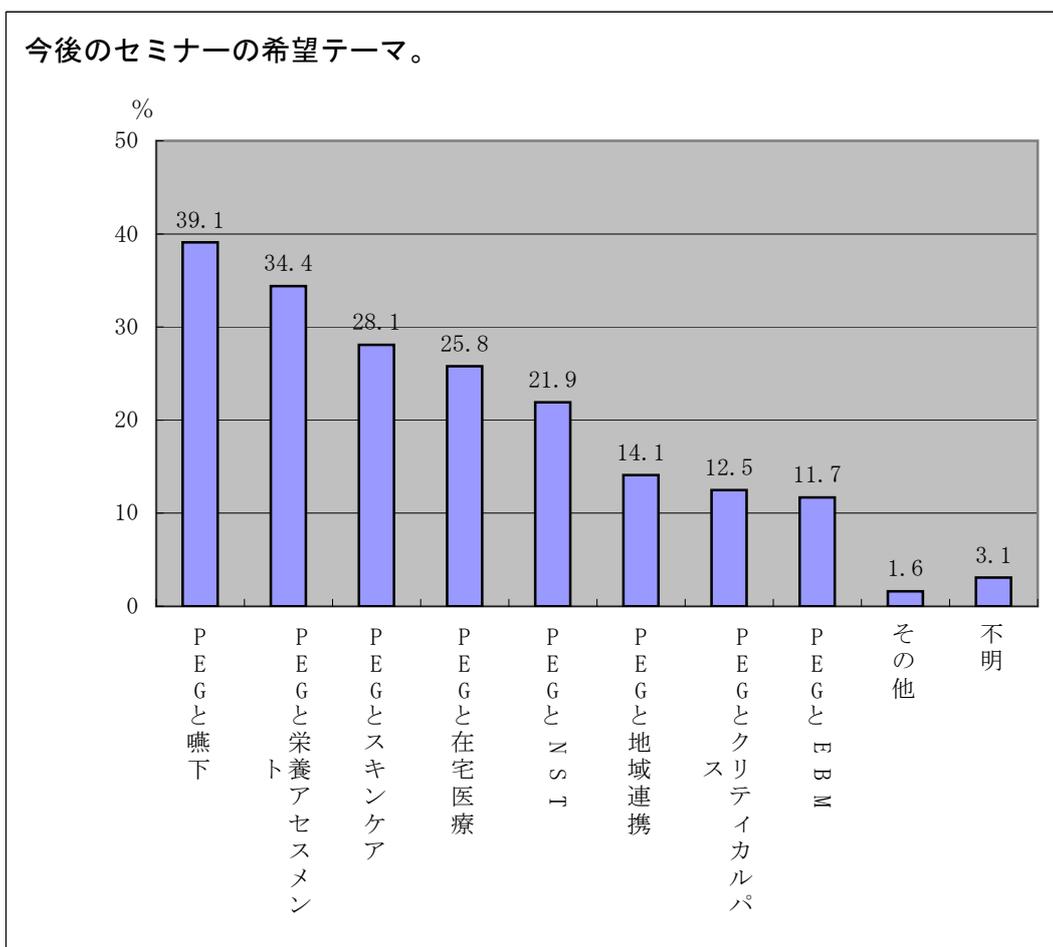
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ。

□ 今回のセミナー評価。



N=128

□ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=128

VI. 自由回答意見。

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください？

- PEGは医療従事者にはよく知られているが、一般にはまだ知られていない。PEGについての知識や理解を広めていくことが必要だ。(准看護師、特別養護老人施設)
- 認知症の患者を多く抱える中で、次第に食べるのが困難になる症例を多く見る。家族のみの意向でPEGを行い、急変するといった症例もあった。回復のためか、延命かというPEGの役割を安易に選択できないと思った。(看護師、老人保健施設)
- 家族の理解が得られず、PEGが進まないことがある。(看護師、一般病院＋療養型病床)
- 四国PEG研究会の開催を希望します。(医師、一般病院)
- 今後もこういうセミナーをどんどん行ってほしい。(准看護師、一般病院)
- 次回セミナーにも是非参加したい。(介護福祉士、老人保健施設)
- どのような患者に造設しているのか、PEG患者は経口からどのような食事を摂っているのかを具体的に知りたい。(ホームヘルパー、特別養護老人施設)
- 栄養管理を詳しく知りたい。(栄養士、一般病院＋療養型病床)
- いろいろな知識を高めていきたい。(ホームヘルパー、ヘルパーステーション)
- PEGの看護はまだ半年だが、これからもいろいろなことを学んでいきたい。(看護師)
- 各施設では、造設後の窓口はどかが担当しているのでしょうか。(看護師、特定機能病院)
- PEGキットの中の部品(注入チューブ、PEJの部品など)の別売りがあると助かる。(看護師、一般病院)
- セミナーに対する要望。
途中で明るくなったが、手元が暗かった。
テキストブックは希望者だけでよいのではなかろうか。自分は2冊目となった。
時間どおりに講演してほしかった。(5名)

徳島県PDNセミナー

回収サンプル数:128サンプル

Q1.あなたの所属先は?(ひとつだけ)

1. 一般診療所(無床)0.0% 2. 一般診療所(有床)5.5% 3. 一般病院32.0% 4. 特定機能病院1.6% 5. 地域医療支援病院3.1% 6. 一般病院+療養型病床20.3% 7. 療養型病床7.0% 8. 脳神経外科病院0.0% 9. 精神科病院2.3% 10. リハビリテーション専門病院1.6% 11. 特別養護老人施設10.9% 12. 老人保健施設7.8% 13. 有料老人施設0.0% 14. 障害者施設1.6% 15. 訪問看護ステーション0.8% 16. 居宅支援事業所0.8% 17. 在宅介護支援センター1.6% 18. その他2.3% 不明0.8%

Q2.あなたは次のどれにあたりますか?(ひとつだけ)

1. 医師3.9% 2. 看護師59.3% 3. 准看護師14.1% 4. 訪問看護師・准看護師1.6% 5. 介護福祉士3.1% 6. 作業療法士0.0% 7. 理学療法士0.0% 8. 社会福祉士0.0% 9. 臨床心理士0.0% 10. 言語聴覚士1.6% 11. 介護支援専門員(ケアマネジャー)1.6% 12. 訪問介護員(ホームヘルパー)5.5% 13. 薬剤師0.8% 14. 栄養士7.0% 15. その他0.8% 不明0.8%

[医師以外の参加者に対して N=123]

Q3.あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか?(ひとつだけ)

1. 行っている74.8% 2. 現在行っていないが以前行ったことがある11.4% 3. 行っていない12.2% 不明1.6%

↓

N=92

Q4.PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか?(ひとつだけ)

1. ~半年位19.6% 2. ~1年位17.4% 3. ~3年位25.0% 4. ~5年位7.6% 5. 5年以上~29.3% 不明1.1%
平均:3.10年

[医師に対して N=5 結果の数字は実数]

Q5.先生のご担当診療科目は?(いくつでも)

1. 外科3 2. 内科2 3. 内視鏡科2 4. その他1

Q6.先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか?(ひとつだけ)

1. ~2,3年位前1 2. ~5年位前0 3. ~10年位前4 4. 10年以上前~0 5. PEGの施行は行っていない0

Q7.PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか?(いくつでも)

1. 脳血管障害5 2. 認知症2 3. 神経疾患2 4. 呼吸器疾患3 5. 外傷1 6. 癌1 7. その他0 8. PEGの施行は行っていない0

Q8.腹腔内誤挿入を経験したことがありますか?(ひとつだけ)

1. ある1 2. ない4 3. PEGの施行は行っていない0

Q9.貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか?(ひとつだけ)

1. ~10件以下2 2. ~20件0 3. ~30件1 4. ~40件0 5. ~50件0 6. 51件以上~2 7. PEGの施行は行っていない0 不明0

[以下、全員に対して N=128]

Q10.訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか?(ひとつだけ)

1. ~5人32.0% 2. ~10人23.4% 3. ~20人9.4% 4. ~30人4.7% 5. ~50人0.8% 6. ~100人0.8% 7. 101人以上~0.8% 8. PEGの患者様はいるが人数はわからない20.3% 9. PEGの患者様はいない7.0% 不明0.8%

平均:9.70人

Q11.御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか?(ひとつだけ)

1. 造設・管理を行っている53.1% 2. 看護・介護のみを行っている32.8% 3. いずれも行っていない6.3% 不明7.8%

↓

N=68

Q12.御施設では、PEGの造設にあたって、患者様ご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか?(ひとつだけ)

1. 十分に行われている48.5% 2. まあ行われている36.8% 3. 十分に行われていない7.4% 4. PEGの造設は行っていない4.4% 不明2.9%

Q13.御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

1. 訪問診療を行っている39.7% 2. 在宅交換を行っている8.8% 3. いずれも行っていない48.5% 不明8.8%

N=128

Q14.御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

1. 積極的20.3% 2. どちらかといえば積極的49.2% 3. あまり積極的でない18.8% 4. PEGの導入・施行はまだ行っていない7.8% 不明3.9%

Q15.御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

1. 積極的14.1% 2. どちらかといえば積極的32.8% 3. あまり積極的でない33.6% 4. PEGの患者様はいない7.8% 不明11.7%

Q16.PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

1. 自己(事故)抜去22.7% 2. 肺炎20.3% 3. 嘔吐11.7% 4. 下痢32.0% 5. 便秘7.8% 6. 栄養剤の漏れによる皮膚炎27.3% 7. 不良肉芽11.7% 8. 創部感染15.6% 9. チューブの交換法・交換時期10.9% 10. チューブ内腔の汚染31.3% 11. 消毒法3.9% 12. 栄養管理法14.8% 13. トラブル時の相談先がない4.7% 14. その他3.1% 15. 特にない3.9% 16. PEGの管理・看護・介護はしていない7.8% 不明4.7%

Q17.PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください？(3つだけ)

- | | |
|---|-------|
| 1 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPRR活動の充実。 | 36.7% |
| 2 PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 57.8% |
| 3 PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 32.0% |
| 4 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 18.8% |
| 5 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 42.2% |
| 6 PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 25.8% |
| 7 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみる | 29.7% |
| 不明 | 6.3% |

Q18.きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

1. 非常に参考になった34.4% 2. 参考になった58.5% 3. 参考にならなかった0.8% 不明6.3%

Q19.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下39.1% 2. PEGと栄養アセスメント34.4% 3. PEGとスキンケア28.1% 4. PEGと在宅医療25.8% 5. PEGとNST21.9% 6. PEGとクリティカルパス12.5% 7. PEGと地域連携14.1% 8. PEGとEBM11.7% 9. その他1.6% 不明3.1%

Q20.所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21.PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？

